

地域住民への警告: 空港での移民逮捕に関する情報

全米移民法センター提供

本資料は、米国の空港を利用する移民向けに、安全な移動に関するヒントやその他の情報を提供しています。

人は皆、愛する人を訪ねたり、新しい場所を探索したりするために、移動することを認められるべきです。しかし現在、国土安全保障省 (DHS) は、新たな、そして有害な方法で移民を追及しています。たとえ有効、または申請中の合法的な移民ステータスを持っている場合や、過去に問題なく移動できた場合でも、米国の空港を経由して移動することはリスクを伴う可能性があります。だからこそ、移動中に自分の権利を知り、リスクに備える方法がこれまで以上に重要になっているのです。

本資料では、安全な移動に関するヒントや、リスクを理解し、自分自身と家族のために準備する方法など、その他の情報を提供します。

免責事項: 本資料は一般的な情報を提供するものです。個々の状況に応じた法的助言ではありません。地域住民の皆様には、ご自身の状況について移民弁護士にご相談されることをお勧めします。

今起きていること

空港の保安を担当する政府機関である運輸保安庁(TSA)は、乗客情報を移民税関執行局(ICE)に提供しています。これは、合法的な移民資格を持たない人、あるいはその資格が不確かな人は、アメリカの空港の保安検査を受ける際に逮捕または国外追放される可能性があることを意味します。

- **それはどのようにして起こるのか?** 週に数回、TSAは米国の空港を経由する航空機利用者のリストをICEに送付しています。そうしたリストには、名前、写真などの詳細情報が含まれています。ICEはこれらのリストを自らの記録と照合します。ICEが標的とする人物を見つけた場合、空港に職員を派遣してその人物の逮捕にあたらせることができます。
- **私の個人情報保護は保護されないのですか?** 通常、政府機関は個人情報の共有に関する規則を定めています。しかし、TSAとICEはどちらも同じ省庁、つまり国土安全保障省に属しているため、これらの規則はここでは適用されません。
- **ICEはすでに空港で人々を逮捕しているのですか?** はい。ニューヨーク・タイムズ紙は2025年12月12日、TSAがこの情報をICEと共有していると報じています。それ以前にも、空港でICEによる逮捕があったとの報道がありました。例えば、11月25日、ICEは、息子を訪ねるためにラガーディア空港へ向かっていたギニア出身の祖母で、クイーンズ在住の在宅介護ヘルパーであるアイサトゥ・ディアロを拘束しました。

米国の空港でICEに逮捕されるリスクがある人について?

不法滞在または一時的な移民ステータスの場合、米国の空港で逮捕されるリスクが非常に高いです。国外退去命令を受けている人々は、特に高いリスクに直面します。非市民は皆、何らかのリスクに直面していますが、特に身分が不確かな人や、ここで説明するようなリスク要因を持つ人は、よりリスクが高いです。リスクを理解するのに役立つ追加情報は以下のとおりです:

- **過去の国外退去命令:** 過去に国外退去命令を受けた記録がある場合、逮捕されるリスクが非常に高くなります。たとえあなたが過去に国外退去命令を受けていたことを知らなかったとしても、あるいはその命令があなたが子供の頃に出されたものであっても、これは当てはまりません。国外退去命令が迅速手続きによるものである場合も同様です。1万5000人以上の東南アジア出身者が、数十年前のものも含め、最終的な国外退去命令を受けており、強制送還の危機に瀕しています。
 - **国外退去命令が出ているかどうかを確認するにはどうすればよいですか?** 政府から「外国人登録番号」(A番号)が記載された書類を受け取ったことがある場合、移民審査執行局(EOIR)のウェブサイトにてオンラインで確認するか、ホットライン: 1-800-898-7180に電話することで確認できます
- **政府が取り消した(または近々取り消す予定の) 法的ステータス:** 一時的な法的ステータスを有していた場合でも、政府が一時保護ステータス(TPS)を含むそのステータスを終了させた場合、逮捕されるリスクが非常に高くなります。これには、仮釈放で米国に入国したものの、その資格が失効した、または政府が仮釈放プログラムを終了した人も含まれます。例えば、政府は最近ネパールに対する一時保護資格を終了し、ミャンマーに対する一時保護資格は2026年3月30日に期限切れとなりました。
- **申請保留中:** ICEは、米国への移民資格申請を提出した人であっても、逮捕・拘留しています。これは、亡命申請、グリーンカード(合法的な永住権)、またはその他の種類の永住保護を申請していたとしても、空港で逮捕される危険性があることを意味します。これには、米国滞在中に在留資格を変更または延長するための申請も含まれます。
- **犯罪歴の有無:** あなたが米国市民ではなく、かつ過去に犯罪歴がある場合(たとえ訴訟が取り下げられたとしても)、入国管理官はあなたを逮捕しようとする可能性があります。
 - 移民法では、たとえ事件が解決済と告げられたり、有罪答弁が撤回されたりした場合でも、一部の行為は「有罪判決」とみなされます。念のため、強制送還事件の経験を持つ移民弁護士にあなたの書類を精査してもらうのが最善です。
- **グリーンカード保持者:** 入国管理官は、グリーンカード保持者であっても、特定の犯罪歴(軽微なものも含む)やその他の危険因子がある場合は逮捕することができます。NILCのこのトピックに関する資料を参照し、リスクを評価してください。
- **DACA 保持者およびその他の猶予措置対象者:** ICEは、DACA(若年移民に対する強制送還の延期措置)の資格を持つ人々を多数拘束しました。DACAやその他の延期措置を受けている場合でも、空港を利用することは危険を伴う可能性があります。DACAに関する最新情報については、こちらのHome is Hereの資料をご覧ください。

安全な移動に関するヒント

- **空港でのあなたの権利を知っておきましょう。**
 - TSA、税関・国境警備局、その他の入国管理官による追加の検査や質問に備えてください。
 - ACLUは、起こりうる事態を説明し、尋問された場合の権利を解説した資料を提供しており。
- **以下の重要な書類の原本をご持参ください:**
 - 合法的な滞在資格の証明、または申請中の書類
 - 事件が終結している場合は、刑事裁判所の命令書の認証済コピーが必要です。
- **お使いのデバイス(スマートフォン、ノートパソコンなど)を安全に保護してください。**
 - 携帯電話やその他の機器を持参して旅行する場合は、警察がその機器を調べる可能性を低くするための対策を講じてください。例えば、搭乗時にスマートフォンを開く必要がないように、チケットを印刷しておくことをお勧めします。メールアカウントからもログアウトしてください。
 - より詳しい情報は、報道の自由財団のウェブサイトをご覧ください。
- **万が一に備えて、安全対策を立てておきましょう。**
 - 弁護士の電話番号と、万が一の時に連絡が取れる親しい人の電話番号を最低でも一つ覚えておきましょう。
 - 逮捕・拘留された場合、あなたがこの特定のプライバシー放棄書に署名していない限り、ICEはあなたの事件に関する情報を誰とも共有しません。万が一拘束された場合に備えて、これらの用紙のうち1枚以上に署名し、大切な人に預けておくことを検討してください。
- **親への特別な配慮:**
 - ICEには、拘留中の親には、子供の処遇について決定する権利があるとする方針があります。しかし、ICEは必ずしも自らの方針に従うとは限りません。
 - お子様を守る方法の一つは、万が一あなたが拘束された場合に、信頼できる大人や友人がお子様の面倒を見てくれるよう、一時的な後見人制度を設けることです。Children Thrive Action Network が提供するこの資料には、役立つ情報が掲載されています:“自分を保つ: 移民の親たちへの愛の手紙”
- その他の資料については、NILCの資料ライブラリをご覧ください。